

くまもと農業・最適化推進運動に係るモデル地区の取組み

農委会名：南小国町農業委員会

1 モデル地区の概要

- (1) 地区名：波居原地区
- (2) 地区内の農地面積：40.5ha
- (3) モデル地区を担当する農業委員数及び推進委員数
 - ① 農業委員数：1人
 - ② 推進委員数：1人

2 地区の実態を踏まえた取組みの方向

高齢化等による農業経営の不安から、将来的に安定した農業経営を地域全体で取り組むことを目指し、地域営農法人の設立を計画した。

3 取組みの概要

中山間地区である本町内において比較的平坦かつ優良な農地を持つ波居原地区であるが、地域の将来には安定的な農業経営を地域で組織的に取り組むことが必要と考え、平成25年頃から話し合い活動を重ねながら段階的に組織化に取り組み、この度営農法人を設立させることに成功した。

町農林課及び農業委員会としては、情報収集や関連機関との連絡調整、座談会への参加等によって法人設立の支援を行ってきた。



【法人による農地集積計画図面】



【農事組合法人はいわら設立総会】

4 取組みの成果（できるだけ数値を用いながら、具体的に）

- (1) 法人組合員数 18人
- (2) 法人出資口数 70口
- (3) 法人への集積面積 7.8ha

法人設立のため地域農業について話し合いを重ねたことで、各組合員が地域の現状についてより強い当事者意識をもって将来像を共有することができた。

併せて、組合員それぞれの状況を柔軟に考慮した作業計画や共同機械利用計画を立て

ることが可能になり、効率化・省力化が実現されつつある。



【先輩組合員の指導を受けながら作業に取り組む】



【作業日程はスマホを活用した共有連絡網にて】

5 課題と今後の方針等

設立当初の法人加入農地面積としてはおおむね計画どおりであるが、今後の運営のためには面積規模を拡大する必要がある。地域内の未加入農地加入による規模拡大を進めつつ、安定的な営農に必要な機械・資材の整備を計画的に遂行していく方針である。